

図書館通信

最上校図書委員会 No.17 12月8日



12月図書館企画 クリスマス特集

「クリスマスに読んでほしいおすすめの本！」

いつまでも心に残る物語を大切な人におすすめしてみませんか？ふとした瞬間に思い出すあの一節を、誰かと共有できたら嬉しいですよね。本を手にする機会が減っている今だからこそ、改めて読んで欲しい名作をご紹介します。



『クリスマスキャロル』 チャールズ・ディケンズ著

クリスマスという特別な時間に、一人の老人が体験する不思議なお話。



『賢者のおくりもの』 オー・ヘンリー著

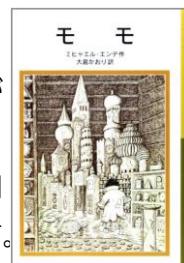
妻へのクリスマスプレゼントを買うために、大切な時計を卖った男でしたが？

『34丁目の奇跡』 ヴァレンタイン・ディケンズ著

クリスマスという奇跡に満ち溢れた時間の中で、いろいろな奇跡を体験することによってサンタクロースの存在を信じるようになっていくという、心温まるお話。

『モモ』 ミヒヤエル・エンデ著

モモは不思議な力を持っており、街の人にとってかけがえのない存在です。ある日、街に灰色の男たちが現れ、町の人々から時間が奪われてしまいました。大切な時間を取り戻すため、モモは灰色の男たちに立ち向かいます。



『星の王子さま』 サン・テグジュペリ著

乗っていた飛行機が故障し、サハラ砂漠の真ん中に不時着してしまった僕は、遠い小さな星から訪れた小さな王子さまと出会います。宇宙を旅してきた王子さまの話を聞く内に、本当に大切なものの真実に気が付く物語。



今年度もクリスマスツリーは生徒会執行部と図書委員会のコラボ作品です。

12月1日の放課後に飾りつけを行い、点灯式を行いました。どうぞ、終業式までクリスマス気分を味わい、楽しんでください。



『飛ぶ教室』 エーリッヒ・ケストナー著

クリスマス前の寄宿学校では、生徒たちが創作劇『飛ぶ教室』の稽古をしていました。ところが敵対している学校の生徒に同級生が拉致されてしまいます！救出に向かう生徒たちですが、一体どんなクリスマスを迎えるのでしょうか？



『十二番目の天使』 オグ・マンディーノ著

ジョンは愛する家族を事故で亡くし、自殺しようとしていました。止めに入った幼馴染に、少年野球のコーチをしないかと誘われます。身体の小さな少年ティモシーとの出会いをきっかけに、人生の輝きを見つけ出す物語です。



『輝く夜』 百田尚樹著

さみしいクリスマスの夜に、ちょっと不思議で「ほんとうにこんなことが起きたらステキッ」な、5つの物語。



『サンタのおばさん』 東野圭吾著

サンタクロースってどうしておじいさんばかりなのでしょう。男女同権の時代、おばさんのサンタクロースがいたっていいじゃない。おかしくて、ちょっと切ないクリスマストーリー。



バレンタイン特集 投票しよう！

2月図書館企画としてバレンタイン特集を行います。

12月8日～18日までに生徒昇降口に展示していますので、
購入してほしい本に投票して下さい。

①『私を選べばよかったのに』 此見えこ著

読者の選択で結末が変わる3つの歪んだ純愛物語。

②『友達になった人気者が、人間じゃなかった話』 夏越リイユ著

たった2ヶ月、でも、何より濃い、ひと夏の異常な日常の物語。

③『最高な恋リアの作り方』 音はつき著

隠し通してきた嘘が明るみになった先に、何が残るのか。

④『世界でいちばん遠いところにいる君と』 新田漣著

50年前の日本、世界でいちばん遠いところにいる彼女と前に進む
ひと夏の希望にあふれたボーイミーツガール！

⑤『正反対なヲタクが恋をした』 九条蓮著

正反対で、絶対に相容れないはずだったふたりの青春恋愛。

⑥『28m先の彼方へ』 水瀬さら著

色々な葛藤を抱えながらも、自分を取り戻すことを決意し？

⑦『世界の終わり、君と誓った3つの約束』 いぬじゅん著

世界が終わる瞬間まで諦めないふたりの青春恋愛感動作！

⑧『センタクシテクダサイ』 菜島千里著

生き残った、最後の人物が目に見る真実とは？

⑨『死んだ彼女が遺した日記』 菊川あすか著

日記を遺した真意とは？ヒロインが死んだ後の恋愛ミステリー。

⑩『青春テロリスト』 朱宮あめ著

完璧な青春が崩れていく。彼女たちが迎える予想外のラストとは？



こんな文庫本おもしろい、注目！

『切手がとっても高い郵便局で』 村瀬健著

国にいる大切な人へ。最期の手紙が紡ぐ、感動の短編集。

「切手代として、百二万円をお願いします。

相手から返事がほしい場合、さらに百二万円分の切手が必要です」
亡くなつてから四十九日までの間なら、天国へ手紙を送れるという
不思議な郵便局。そこでは、手紙を送りたいと願う人の年収や貯金
によって切手の値段が決まる。高額な切手を買ってでも、天国の大切な人に想いを
伝えたい。生者と死者。もう二度と会えない者同士の最期の文通。



『神様の御用人 見習い』 浅葉なつ著

神様にだって願いがある！ 神様と人の温かい絆の物語。

神様たちの御用を聞いて回る人間、御用人。

その御用人を代々輩出する神社に生まれた桜土朗は、幼いころから
自分も御用人になりたいと望んでいたが、未だに任命されず焦燥感
を抱いていた。そして迎えた17歳の誕生日。直談判を受けた大国
主神は、御用人見習いとして神様のお手伝いをするという提案をするが、猫探し?
改名したい!? 漬物の神って!?!? 神様オタクの桜土朗と、保護者枠の白狼・青藍。
新たな御用人見習いコンビが西へ東へ駆け回る！



『行方不明の友人を探しています』 櫻井千姫著

7月22日「ホテル ヘブン」に行った友人が消えました。

宇佐美 晴彦さんの情報をください。

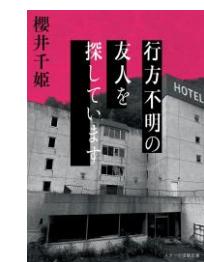
- ・氏名：宇佐美 晴彦
- ・年齢：19歳
- ・性別：男性
- ・身長：172cm 中肉体型
- ・頭髪：茶髪
- ・服装：黒いロックTシャツ

◆◆情報提供の注意点◆◆

※ホテルの間取り図から情報をお探し下さい

※太字で表記された403号室から聞こえる泣き声などにご注意下さい

※文字が消えるなどの異変が起きましたら、身の回りにご注ください。



※ぜひ図書館へ